

いよいよ箕面で放課後デイが始まります！

以前からお伝えしてきたとおり、この夏から待ちに待った放課後デイが箕面市内でスタートします。スマイルシードでは、7月と8月に開設を控えた2施設について運営される事業者さんからのダイレクトな情報をお伝えします。合わせて、既に放課後デイを利用している家族のレポートも紹介します。

他にも近隣地域での放課後デイ開設の動きが伝わってきています。子どもたちがより暮らしやすく、生活力を付けていく上での支援を得られる場所が増えていくのはとても嬉しいことです。利用にあたっては、それぞれの事情をふまえて、サービスを提供して下さる事業者さんや市の相談窓口でよく話し合うことがスムーズな利用につながるのではと思います。

※新年度より、放課後等デイサービスの相談・申請窓口は子ども部子ども家庭総合支援室、子育て応援担当総合保健福祉センター分室（072-727-9520）となっています。市立病院内リハビリテーション1階あいあい園に窓口があります。

申請書の提出については障害福祉課に預けることもできるそうです。

今号の内容は…

I	北摂福祉会 放課後等デイサービス事業開設に向けて	P 1～2
	地域支援センター わとと 紹介 北摂福祉会	鈴木さん
II	地域交流センター さんかくひろば 開設にあたって	P 2～3
	地域交流センター さんかくひろば 紹介	
	NPO法人箕面市障害者の生活と労働推進協議会	細谷さん
III	放課後デイ、我が家の場合	P 3～4
	ちゅーりっぷハウス体験レポート 箕面支援高等部保護者	Nさん

I 北摂福祉会 放課後等デイサービス事業開設に向けて

事業所名称が決まりました。

『地域支援センター わとと』です。

『わとと』とは、スワヒリ語で「子供たち」の意味。PCで検索すると意外と全国的に使用しているところがあるではないですか。

私たちは、障害のある児童が言いやすいのではないかと思いました。母音で「わ(a)と(o)と(o)」となるので、子供たちが「わととへ行く」と言いやすいのではないかと。子供たちが『わとと』にきたいという実践を積み上げていく事を自らプレッシャーをかけて頑張っていこうと思っています。

○7月開設に向けて準備中

管理者 片瀬を中心に主だったスタッフも決めました。茨木や吹田市内の放課後支援の事業所にも研修に出かけて学んできました。船場東2丁目のビルも現在改修中。ここまで来るにも、予想外の山あり谷ありで本当に開設するのか、まだつめていかなければならない課題も継続中です。8月には別の放課後等デイサービスもできるので、箕面市内で児童の支援が充実すると家族の方も安心されるのではないのでしょうか。

現在も、北摂福祉会へ問い合わせがあります。中心は、やはり医療的ケアの子供です。それほど放課後や長期休業の支援が困っているということです。看護師確保が一番の課題と思っています。

どのような医療的ケアの子供たちが来るのか。登録されるけど支援できるのか、まだ不明なところがあります。おそらくは毎日通所するには難しいのではないかと考えてもいます。

6月に入り『わとと』の説明会を計画しています。それまで、関係機関やスタートしてからの細かいところまでをつめていかななくてはならないので、後日日程をお知らせするようにします。

(注：『わとと』説明会は6月8日に実施)

説明会後に登録を受付し、順次面接の日程をお知らせするという流れです。

開設時間等は2月の説明会にてお知らせした内容とあまり変更はありません。

※今後は実施エリアの範囲、送迎時間、車輛取得、日課・週課・月課スケジュールの試案、長期休暇中の昼食対応、備品購入、契約書及び重要事項説明書の作成など最終の詰めを月末まで進めていくところです。

★『地域支援センター わとと』

所在地 : 〒562-0035 箕面市船場東2丁目6-46 チャレンジMMGビル2階

開所 : 月～金 13:00～17:30 土・日は休み

祝日と長期休暇中(夏、冬、春) 10:00～16:00

実施地域 : 箕面市全域と、豊中市(一部)、吹田市(一部)、豊能町(一部)

送迎 : 実施

受付窓口 : 北摂福祉会 ともがき TEL(072) 737-2133 鈴木、若しくは片瀬

メールアドレス : hokusetsu-fukushikai@lake.ocn.ne.jp



Ⅱ 『地域交流センター さんかくひろば』開設にあたって

『さんかくひろば』の「さんかく」には、それぞれの人の自立や参画を共に実現したいという思いをこめています。

これまで取り組んできた「相談支援」「送迎サービス」に加え、障害のあるこどもの「放課後等デイサービス」を基本事業とし、市民交流スペースを設けコミュニティカフェ(たこやきを焼きます。)を運営します。また、地域のNPOやボランティア団体、学校などと協力しながら活動をしていきたいと考えています。

私たちが地域との交流にこだわるのは理由があります。これまで障害者の自立を目指す活動に取

り組む中で、障害者が自立するためには、こどもの頃から、家族以外に関わりをもつ人が必要だと感じたからです。

障害のあるこどもの放課後の居場所に留まらず、地域の人たちや障害のないこどもにも来てもらえるような、それぞれが学校や家庭とまた違う人間関係をつくれる場所、相互にコミュニケーションがとれるような場所を目指します。そういう場所は障害のある人だけでなく、障害のないこどもや大人の中にも、必要とする人がいると思います。地域にとっても必要なのだと考えています。

こどもはそれぞれ違う個性を持っているので、実際関わってみて初めて気付くことがあると思います。本人やご家族と相談しながら一人一人のやりたいことを一緒に見つけ、必要なサポートをしていきたいと思います。こどもが主体性を発揮し、その子なりの役割を担う場所になればいいなあと思います。

私たちにとっても新たなチャレンジです。今後、いろいろな人の意見を取り入れる場として、運営会議も考えています。ご家族の方にもご参加いただけるとありがたいです。

★『地域交流センター さんかくひろば』

運営主体 : NPO法人箕面市障害者の生活と労働推進協議会（推進協）

所在地 : 箕面市牧落 3-2-15 ポプラハウス 1 F

開設 : 8月1日（予定）

募集時期 : 7月（予定）

対象年齢 : 小学校4年生~高校3年生

定員 : 10名

開所 : 平日、土曜（年末年始除く）13:00~17:00まで（予定、延長応相談）

長期休みの対応は検討中

送迎 : あり

問い合わせ : 『さんかくひろば』 電話 (072) 734-6833（6月1日から）担当 細谷・川上

メールアドレス : mintlife@big.or.jp ・ HP <http://www19.big.or.jp/~mintlife/index.shtml>

※車いす対応可能

※土曜、長期休み中の昼食の対応は検討中。長期休みはできればこどもたちの中でお昼ごはん当番などを決めて、スタッフやボランティアさんと一緒に昼食の準備などをする日を作れたらいいな！と考えています。



Ⅲ 放課後デイ、我が家の場合 ~『ちゅーりっぷハウス』利用体験レポート~

私の場合は2月の中旬頃から、ちゅーりっぷハウスを利用する事を決めていました。

ライプラの障害福祉課へ行き社協のケースワーカーさんと会い、利用できるよう手続きをしたい旨を伝えましたが、まずは事業者と話し、月何日利用するのか支給量を決めて来て下さいと言われてました。ちゅーりっぷハウスへは事前にアポを取っていた2月18日に見学に行き、こちらの現状や要望を伝え支給量を決めてもらい、それをケースワーカーさんへ電話で伝え、受給者証の発行手続きをしてもらいました。それから1週間程で受給者証ができ、3月3日にちゅーりっぷハウスを再訪問して契約をし、3月6日から利用開始しています。開所日は月~土で日祝はお休みです。時間は学校がある日もない日も

13時～17時です。うちの場合は、週に4日利用しています。

送迎もあり、送迎先にも柔軟に対応してくれるので、基本は学校へ迎えに行ってもらい帰りは自宅へ、その日の都合に合わせて、祖母の家や、ショートステイにも送迎してもらっています。自宅へ送ってもらった時、うちの場合は私が家にいないので、私の携帯に「今自宅に入られました。」と連絡してくれるので安心です。

月ごとのプログラムがあり、買い物や図書館へ行ったり、おやつ作り、DVD観賞、お誕生日会など、楽しいプログラムを用意してくれています。

家庭とのやり取りは連絡帳で、その日の子どもの様子や、次回は何月何日何時に何処へ迎えに行くと予定も記入してくれます。活動中の子どもの写真も撮ってその日に連絡帳に挟んで下さるので、子どもの様子がよくわかります。今はまだのようですが、ちゅーりっぷハウスにはホームページがあり、ブログもされる予定で、そこでもその日の様子をアップしていかれるそうです。(勿論プライバシーへの配慮は考えられています。)

メールでの連絡も可能で、仕事で電話に出られない時などは、メールで連絡を入れてもらうようお願いすると対応してもらえました。

先日、仕事の都合で、学校→ちゅーりっぷ→ショートステイ(宿泊)→学校→ちゅーりっぷ→自宅。という日があったのですが、連絡帳が見れない分、子どもの様子を写メして下さいました。お互いが安心して過ごせるような配慮はよくしてもらえていると思います。

ただ、うちの場合の問題点は、長期休みの学校がない日も13時からということです。ショートステイも泊まり以外は送迎がなくなってしまったので、朝おばあちゃんの家へ送って行き、そこへショートステイに迎えに来てもらい午前中をショートで過ごし、午後からちゅーりっぷ、という利用がし難くなってしまいました。ただでさえ支援が必要な子どもたちなのに、身内や周りに更なるサポートをしてももらわないと生活を維持していけません。ちゅーりっぷハウスが午前中から利用できるようになると助かるのですが、食中毒の予防など、クリアしないといけない事があるようで簡単にはいかないようです。

こちらの都合にピッタリ合うところはなかなかありませんが、子ども本人もスタッフさんや雰囲気にも慣れ、次はどんな事をして過ごすのかをプログラムで嬉しそうにチェックしている様子を見ると、とても気に入っていて、利用するのが楽しみなのがわかります。これが一番です。

<注> 受給者証の発行に掛かる日数は、その時の状況によって異なります。

★『ワンブーケ放課後等デイサービス ちゅーりっぷハウス』

所在地：〒565-0875 大阪府吹田市青山台3-8-5 TEL(06)7171-8828 FAX(06)7171-8488

開所：月～土 13:00～17:00(日祝、夏季(8/13～8/15)、年末年始休園)火・木・土 空き有

対象年齢：6(就学児童)～18歳

送迎：あり

<http://one-bouquet.com/tulip/>

ブログ始めました。

この夏、船場西に児童デイサービス2号店『たんぼぼ』を開設予定です！



支援の必要な中高生の豊かな地域生活を考える会

<http://smileseed.jimdo.com/>